

宮崎商業高等学校における三つの方針（スクール・ポリシー）

期間：令和7年3月～令和8年3月

【スクール・ミッション】

- 県全体の商業教育をリードし、商業系の学び・情報系の学び・経済系の学びを通して、宮崎地区の地域産業をはじめ、国内外の経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成を目指す学校
- 克己求道の校訓の下、優れた知性と人間的魅力にあふれ、高い志を備えた有為な人材を育成し、社会の負託に応えることを目指す学校
- 地域・社会に有為な人材を輩出するため、生徒の可能性を最大限に伸ばすことを目指す学校

【スクール・ポリシー】

グラデュエーション・ポリシー ～このような生徒を育てます～	本校は「気品があり、信頼される生徒」の育成を目指します。 (1)高い理念に基づく使命感を育む。 (2)教養に基づいた「創造力」・「判断力」・「適応力」を高める。 (3)誠実・寛容・感謝の精神を育成する。 また、各学科においては次のような資質・能力を育成します。 【商業マネジメント科】 商業教育全般を通じ、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての志を持ち、社会から必要とされる高度な専門力を持った生徒を育成することを目標とします。 【情報ソリューション科】 AIやIoT時代の到来等、これからの情報社会に向けて、開発者側、利用者側、両方の視点を持ち、社会から必要とされる高い専門力を持った生徒を育成することを目標とします。 【グローバル経済科】 人、モノ、情報が国際的に移動し活性化する中で、実験的・体験的な学習活動を行うことを通して、グローバルな視点で地域やビジネスに必要とされる高い専門力を持った生徒を育成することを目標とします。
カリキュラム・ポリシー ～このような学びを展開します～	【商業マネジメント科】 (1)商業の各分野を統合し、専門力を高める教育課程を設定します。 (2)地域創生に寄与できる新しい学びを設定します。 【情報ソリューション科】 (1)AI対応のプログラミングを中心とした教育課程を設定します。 (2)体験的な実習を通して、経営上の意思決定に役立てる手法や技術を習得させます。 【グローバル経済科】 (1)グローバルな視点で地域経済に対応する教育課程を設定します。 (2)外国語を通じた考察や討論を行う学習活動を重視します。
アドミッション・ポリシー ～このような生徒を受け入れます～	本校の目指す生徒像は、「気品があり、信頼される生徒」です。具体的には、「志高く目標をもつ生徒」「知性と常識を備えた生徒」「心ある対応のできる生徒」を育成するため、次の生徒を求めています。 (1)中学校3年間で基本的な生活習慣を身に付けている生徒 (2)商業の専門性に興味や関心がある生徒 (3)将来の目標をもって、本校で学ぶことを強く希望している生徒